

平成30年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	①	学校名	盲学校
----	---	-----	-----

1. 取組名 いくナラ みるナラ 盲学校

2. 活動内容

地域の方々に盲学校を知って欲しいという思いから始めた3年計画の今年が2年目の取組です。当初は教員だけでと考えていましたが、途中から生徒も加わり、学校を上げて行う取組になってきました。前半は、学校見学と生徒が中心になって行う学校紹介。後半は、6つのグループ（申込時に希望）に分かれての体験会を行いました。【①点字教室 ②音声パソコン教室 ③視覚障害者スポーツ教室 ④視覚障害・模擬授業 ⑤手引き・白杖歩行教室 ⑥自由見学】

③のスポーツ教室では、サウンドテーブルテニス（卓球）を行い、生徒との対戦があったり、⑥の自由見学中に、理療のプロを目指す生徒たちが希望者に対しあん摩体験を実施したりしました。あん摩体験は今年度新しく追加した取組です。地域の方々と生徒が学校の紹介やスポーツ、あん摩などを通して関わることにより、地域の方々には生徒や視覚障害者に対する理解を深めていただき、生徒たちには積極的に地域の方々と接したりする機会を設けキャリア教育に繋げることを目的にした取組です。

3. 成果と課題

今回も予定していた60名の参加をいただき実施することができました。生徒の参加は強制ではないものの、半分程度の参加があり昨年からの広がりを感じました。本校の生徒にとっては、他の人に介助をして頂くといった関わりが多く、このように自分が中心となって人前で話す機会はほぼなく、大変貴重な体験になっています。また、参加者からも「視覚に障害のある人の立場が理解できた」「障害のある人が暮らしやすい社会になって欲しい」「他の体験も経験したい」などの意見をいただきました。

4. 次年度に向けて

広報の方法を検討し、より多くの人にチラシや実施の情報が届くよう取り組む必要があります。生徒の経験の場と学校の啓発については、十分にできていると思えるので、新しい体験を入れるかどうかをしっかりと検討し、参加者が来て良かったと思える体験会を目指して、3年目を終了したいと思っています。そのためにも、教員の更なる協力が必要と考えています。

